

芝浦工業大学、2024年4月より大宮キャンパスに カーボンニュートラル都市ガスを導入

* * *

学校法人芝浦工業大学（東京都江東区／理事長 鈴見健夫）は東京ガス株式会社（東京都港区／社長 笹山晋一）と、カーボンニュートラル都市ガス（以下、CN 都市ガス）の供給に関する基本合意書を締結しました。これにより、2024年4月より大宮キャンパスで使用する都市ガスの全量が CN 都市ガスに切り替わります。CN 都市ガス導入による CO₂ 排出削減貢献量は約 1,000t-CO₂/年*で、これは大宮キャンパス全体における年間 CO₂ 排出量の約 28%に相当します。大宮キャンパスは、「脱炭素先行地域」の取り組みを通じて、持続可能なグリーンキャンパスの実現に取り組んでいきます。

*大宮キャンパスにおける 2022 年度ガス使用量から、東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社が算出。



（右から）東京ガスエンジニアリングソリューションズ都市エネルギー営業本部公益営業部長小笠原氏、取締役常務執行役員 都市エネルギー営業本部長高橋氏、芝浦工業大学副学長（SDG s 推進室長）磐田教授、SDG s 推進委員会委員長増田教授

■ CN 都市ガス導入の概要

対象キャンパス：大宮キャンパス(埼玉県さいたま市見沼区大字深作 307 番地)

供給者：東京ガス株式会社

導入量：大宮キャンパスで使用する都市ガスの全量

導入開始時期：2024年4月1日

■ CN 都市ガス導入の背景

芝浦工業大学はさいたま市、国立大学法人埼玉大学及び東京電力パワーグリッド株式会社埼玉総支社の4者で、環境省が推進する「脱炭素先行地域」に共同提案し、2022年4月に選定されました。このことを受け、「カーボンニュートラル実現に向けたアクションプラン」を定め、2030年までに大宮キャンパスの電力消費に伴うカーボンニュートラルを目標としました。

この度芝浦工業大学は、電力消費にとどまらず、ガス消費に伴うカーボンニュートラルも視野に入れてCN都市ガスの導入を決定しました。また、CN都市ガスを調達・供給する東京ガス株式会社と導入した企業・法人が連携し、CN都市ガスの普及、拡大とその利用価値向上の実現を目的として設立した「カーボンニュートラル LNG バイヤーズアライアンス」にも加盟しました。

■ カーボンニュートラル都市ガスとは

「カーボンニュートラル都市ガス」は、天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する温室効果ガスを、新興国等における環境保全プロジェクトにより創出されたCO₂クレジットで相殺（カーボン・オフセット）し、燃焼しても地球規模ではCO₂が発生しないとみなされるLNG（液化天然ガス）を活用したものです。

東京ガス株式会社が2019年に輸入を開始し、CN都市ガスとして日本で初めて消費者に供給を開始しました。現在は、東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社が法人向け窓口となり、芝浦工業大学との合意書締結に至りました。

■ 関連リンク

▼芝浦工業大学「カーボンニュートラル実現に向けたアクションプラン」

<https://www.shibaura-it.ac.jp/headline/detail/20231115-9956.html>

▼カーボンニュートラル LNG バイヤーズアライアンス

<https://carbon-neutral-lng.jp/>

芝浦工業大学とは

工学部／システム理工学部／デザイン工学部／建築学部／大学院理工学研究科

<https://www.shibaura-it.ac.jp/>

理工系大学として日本屈指の学生海外派遣数を誇るグローバル教育と、多くの学生が参画する産学連携の研究活動が特長の大学です。東京都（豊洲）と埼玉県（大宮）に2つのキャンパス、4学部1研究科を有し、約9,500人の学生と約300人の専任教員が所属。2024年には工学部が学科制から課程制に移行し、従来の教育の在り方を根本から変えていきます。創立100周年を迎える2027年にはアジア工科大学トップ10を目指し、教育・研究・社会貢献に取り組んでいます。

取材に関する問い合わせ先

学校法人 芝浦工業大学 入試・広報連携推進部企画広報課 柴田

TEL 03-5859-7070 FAX 03-5859-7071 E-mail koho@ow.shibaura-it.ac.jp